



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日  
名

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所  
コード番号 3384 URL <http://www.arkcore.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611  
四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	2,032	△34.0	10	△93.7	8	△94.7	17	△83.4
26年2月期第3四半期	3,078	—	165	—	157	—	103	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 17百万円(△83.4%) 26年2月期第3四半期 103百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	10.34	—
26年2月期第3四半期	52.64	—

(注) 平成26年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、当社は、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますので、平成26年2月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出した遡及処理後の1株当たり当期純利益を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	1,534	502	32.7
26年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 501百万円 26年2月期 1百万円

(注) 平成26年2月期は連結貸借対照表を作成していなかったため、平成26年2月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,645	△25.3	47	△51.8	41	△53.6	22	△62.3	13.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年2月期第1四半期及び第2四半期は連結子会社が存在しなかったため、連結損益計算書を作成していませんでしたが、当第3四半期から連結損益計算書の作成を再開しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) (株) 福田モーター商会、除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	1,970,000株	26年2月期	1,970,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	321,000株	26年2月期	216,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	1,667,205株	26年2月期3Q	1,970,000株

(注) 当社は、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますので、平成26年2月期首に株式分割が行われたと仮定して算出した期末発行済み株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の蓬莱に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の四半期別GDP成長率の速報値が4-6月期、7-9月期においていずれもマイナスとなるなど、国内の実体経済は厳しさを増しております。また、雇用情勢は、有効求人倍率は上昇しているものの、若年層の完全失業率が上昇する状況が続いております。

当社グループでは、前第3四半期連結会計期間においてゲオショップ事業として運営していたゲオショップFC6店舗を売却し、同事業から撤退いたしました。当第3四半期連結会計期間では株式会社福田モーター商会を連結子会社としたことにより連結決算を再開いたしました。また、事業セグメントの名称を「中古バイク事業」から「バイク事業」に変更いたしました。現在の事業セグメントは、バイク事業のみの単一セグメントとなっております。

当社における中古バイクの買取台数は7,492台(前年同期比6.5%減)、販売台数は7,649台(前年同期比10.6%減)となり、前年同期比での台数の減少傾向が続いております。

第3四半期も業者間オークション相場状況が思わしくありませんでした。その結果、販売単価は、前年同期比で排気量400cc超の大型車の販売比率が高まったことが影響し、3.0%増となりましたが、粗利単価は11.7%減となりました。

平成26年9月20日付で連結子会社となった株式会社福田モーター商会の第3四半期会計期間は平成26年9月21日から11月20日までとなっております。当該期間のバイクの販売台数は新車44台(前年同期比51.7%増)、中古車17台(前年同期比13.3%増)となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,032百万円(前年同期比34.0%減)、営業利益は10百万円(前年同期比93.7%減)、経常利益は8百万円(前年同期比94.7%減)、四半期純利益は17百万円(前年同期比83.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の分析

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末において総資産は1,534百万円となりました。

流動資産合計は1,361百万円、総資産の88.7%となっております。主な内訳は現金及び預金925百万円、商品332百万円であります。

固定資産合計は173百万円、総資産の11.3%となっております。主な内訳は建物附属設備77百万円、差入保証金43百万円、車両運搬具17百万円であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末において負債は1,032百万円となりました。

流動負債は440百万円、負債・純資産合計の28.7%となっております。主な内訳は1年内返済予定の長期借入金242百万円、買掛金94百万円であります。

固定負債は591百万円、負債・純資産合計の38.5%となっております。内訳は長期借入金591百万円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末において純資産は502百万円、負債・純資産合計の32.8%となっております。内訳は資本金232百万円、資本剰余金260百万円、利益剰余金101百万円、自己株式△93百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は894百万円となっております。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は91百万円(前年同期は得られた資金96百万円)となりました。得られた資金としては主に税金等調整前四半期純利益19百万円の計上であり、支出した資金としては主に法人税等の支払額66百万円、仕入債務の減少額39百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は163百万円(前年同期は支出した資金3百万円)となりました。これは主に株式会社福田モーター商会を子会社としたことによる収入164百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は270百万円(前年同期は得られた資金71百万円)となりました。得られた資金としては主に金融機関からの長期借入れによる収入500百万円であり、支出した資金としては短期借入金の返済による支出58百万円、長期借入金の返済による支出122百万円、社債の償還による支出20百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成26年10月8日に公表いたしました予想数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社は株式会社福田モーター商会を完全子会社としましたので、同社を連結対象に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	925,675
売掛金	40,294
商品	332,043
未収還付法人税等	10,534
繰延税金資産	11,480
その他	40,981
流動資産合計	1,361,008
固定資産	
有形固定資産	115,965
無形固定資産	1,889
投資その他の資産	56,072
固定資産合計	173,927
資産合計	1,534,935
負債の部	
流動負債	
買掛金	94,450
1年内償還予定の社債	10,000
1年内返済予定の長期借入金	242,885
未払法人税等	930
賞与引当金	4,609
その他	87,673
流動負債合計	440,549
固定負債	
長期借入金	591,666
固定負債合計	591,666
負債合計	1,032,215
純資産の部	
株主資本	
資本金	232,825
資本剰余金	260,535
利益剰余金	101,387
自己株式	△93,026
株主資本合計	501,720
新株予約権	1,000
純資産合計	502,720
負債純資産合計	1,534,935

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,078,822	2,032,995
売上原価	1,811,357	1,330,954
売上総利益	1,267,465	702,040
販売費及び一般管理費	1,101,545	691,535
営業利益	165,919	10,505
営業外収益		
受取手数料	6,171	1,887
雑収入	1,829	1,355
その他	740	707
営業外収益合計	8,741	3,951
営業外費用		
支払利息	3,602	5,775
訴訟関連費用	12,500	-
その他	997	300
営業外費用合計	17,100	6,076
経常利益	157,560	8,379
特別利益		
負ののれん発生益	-	11,342
事業譲渡益	18,868	-
特別利益合計	18,868	11,342
税金等調整前四半期純利益	176,428	19,722
法人税、住民税及び事業税	48,429	2,102
法人税等調整額	24,290	387
法人税等合計	72,720	2,489
少数株主損益調整前四半期純利益	103,708	17,232
少数株主利益	-	-
四半期純利益	103,708	17,232

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,708	17,232
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	103,708	17,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,708	17,232

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	176,428	19,722
減価償却費	8,379	9,527
のれん償却額	13,967	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△552
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,835	△11,090
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△9,000
支払利息	3,602	5,775
社債利息	541	-
為替差損益(△は益)	-	△17
事業譲渡損益(△は益)	△18,868	-
負ののれん発生益	-	△11,342
訴訟関連費用	12,500	-
創立費償却額	281	-
売上債権の増減額(△は増加)	18,171	19,386
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,064	12,449
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,223	△39,746
その他の流動資産の増減額(△は増加)	20,607	8,964
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△35,920	△21,020
その他	△3,873	△1,986
小計	130,824	△18,930
利息の支払額	△4,100	△6,056
法人税等の支払額	△17,990	△66,417
訴訟関連費用の支払額	△12,500	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,234	△91,404
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△1,201
有形固定資産の取得による支出	△9,083	△4,355
無形固定資産の取得による支出	-	△550
投資有価証券の取得による支出	△108,000	-
関係会社株式の売却による収入	-	6,000
長期貸付けによる支出	△1,000	-
差入保証金の回収による収入	10,000	17
差入保証金の差入による支出	△11,610	△548
出資金の払込による支出	-	△10
事業譲渡による収入	200,000	-
事業譲受による支出	△82,443	-
創立費の支払による支出	△281	-
保険積立金の積立による支出	-	△345
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	164,857
その他の支出	△670	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,088	163,859

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,000	-
短期借入金の返済による支出	△69,996	△58,330
長期借入れによる収入	100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△58,218	△122,992
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
新株予約権の発行による収入	-	1,000
自己株式の取得による支出	-	△29,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,786	270,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	164,932	343,049
現金及び現金同等物の期首残高	606,539	551,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	771,471	894,468

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	中古バイク事業	ゲオショップ事業	不動産事業	
売上高	2,011,037	1,064,572	3,213	3,078,822
セグメント利益又は損失(△)	194,371	△21,797	△6,654	165,919

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ゲオショップFC全店舗の譲渡に伴い、「ゲオショップ事業」セグメントにおいて、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、53,430千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

当社の事業セグメントは、バイク事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。